

佐野厚生総合病院に入院された患者様へ

当院では下記の臨床研究を実施致します。

通常の診療で得られた過去の診療記録や残存検体等を使用し臨床研究を行う場合があります。このような研究は、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さんお一人ずつから直接同意を得る代わりに、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。また、研究結果を学会等で発表することがありますが、個人を特定する情報は公開されません。

なお、研究への協力をご希望されない場合は、下記お問い合わせの担当者までご連絡頂けますようお願い致します。

研究課題名	転倒予防要因として下腿周囲長の有用性についての検証
研究責任者	医療安全対策室
他の研究機関	なし
本研究の目的	高齢者における転倒・転落は、骨折や外傷等の大きなけがにつながり、これらが原因で介護が必要な状態になることもあります。骨折が改善されたとしても、転倒による不安や恐怖心が原因で意欲低下などになり日常生活に支障を来す転倒後症候群に陥ることもあります。高齢者にとっての転倒転落予防は重要な課題です。当院ではフレイル予防対策として入院時から下腿周囲長の測定を行い、入院中の栄養管理介入を行っています。この下腿周囲長が、転倒の危険因子であるサルコペニアを早期にスクリーニングできる要因になることを明らかにすることで、今後、入院患者皆様への転倒予防対策に一助になると考え調査を行います。転倒予防要因として下腿周囲長の有用性についての検証を研究目的となります。
研究期間	2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月
研究の方法(対象となる方)	2022年 4 月～2024年 3 月まで入院していた 65 歳以上の転倒歴のない患者と入院中に転倒歴のある 65 歳以上患者
研究の方法(利用する情報)	年齢、性別、下腿周囲長、BMI、内服薬、転倒歴、転倒転落危険度リスク、認知症の有無、入院中の転倒歴、行動制限の有無
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の対象者を直接特定できる個人情報は削除して使用します。(利用する情報に個人を特定する情報は一切含みません。)研究結果を学会等で発表する可能性がありますが、その際も対象者を特定できる個人情報は使用しません。また、本調査協力拒否の場合、意思表示された対象の方に不利益は生じません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し、開示すべき利益相反はありません。
お問い合わせ先	研究への利用に関する質問や、個人情報提供を拒否する場合などの連絡先 【担当者】医療安全対策室 高瀬 明子
備考	